

# 二〇二五年度 入学試験問題

## 国 語

### 第一回

【注 意】

- ・ 試験時間は五〇分です。（八時五〇分～九時四〇分）
- ・ 問題は一ページから九ページまでです。
- ・ 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- ・ 字数制限のない問題について、一行分の解答らんに二行以上解答してはいけません。
- ・ 記号・句読点がある場合は字数に含みます。
- ・ 解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。



洗足学園中学校

1 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

95

90

85

80

75

70

65

---

120

115

110

105

100

★無意識下の影響：精神分析家ジークムント・フロイト（二八五六～一九三九）が提唱した考えのこと。ここでは、人間には「無意識」の領域があり、「私」＝主体はその影響を受けながら意識的な生活をしているということを目指す。

★デカルトが徹底した疑いの中で到達した懐疑の淵

：哲学者ルネ・デカルト（一五九六～一六五〇）の「方法的懐疑」において示される、物事を徹底的に疑い、すべてを判断停止のまま保留した状態にすること。ここからデカルトは「疑っている『私』は確実に存在している」という推論を導き、「私」の存在の確実性を示した（「私は考える、ゆえに私は存在する（コギト・エルゴ・スム）」）。

## 問一

——(1)「神話の作用を検討すること」とありますが、「創世記」の例では「神話の作用」によって私たち人はどのようになると述べられていますか。最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 神による世界創造において、最初に人間が作られたのち、他の動物、海や大地が作られていき、最終的に現代にまでたどり着くという物語の形式をとり、世界の中の自分という「自己意識」を獲得するようになる。

イ 神による世界創造の最後に作られた人間が私たちの祖先であり、その後何千年もの歴史を経て、現在の自分までたどり着くのだという物語から、自分の社会的位置を確定し、世界との関係を意識するようになる。

ウ 神による世界創造という暴力的な位置づけによって存在し始めた世界が「最初の人間」を作り、その後の長い歴史を経て現在の自分が存在するという物語によって、私たちの社会的ポジションが確定される。

エ 神による世界創造から始まり、「世界」の支配者になれと神が「人間」に命じたという物語を通じて私たちの祖先が設定され、その直系の子孫としての私たちは世界の中に生きる意味を見いだすことができる。

## 問二

——(2)「近代における『私』の神話」とありますが、この言葉は、近代においても「私」という存在が「神話の作用」によって位置づけられている、ということの意味します。では、本文ではこのことをどのように説明していますか。最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 近代では、宗教の神話をいったん解体した後で、各人が「私」をどのような存在として社会的に位置づけるかを独自の思考法で作り出し、社会契約のフィクションを描き、人間の権利を定めることで宗教的な物語から解放された私たちの存在のしかたを知る。

イ 近代では、宗教の神話をいったん解体した上で、過去から現在に至る「自分」の位置づけを「私」を中心に再構築することで、「創世記」の神話作用をより強固に「自己意識」と結びつけ、無意識の影響をも受けながら成長していく「私」の物語の構造を知る。

ウ 近代では、宗教の神話をいったん解体した上で、世界のはじまりは「私」であるという前提を作り、自己決定は侵害してはならないと絶対化し、社会契約のフィクションを描き、人間の権利を定めることで、この社会を生きる自分たちの存在のしかたを知る。

エ 近代では、宗教の神話をいったん解体したが、新しい神話を形成させてゆく上で、「私」の自己決定というフィクションを作り出し、各自が宗教的な物語を内省し、人権意識を育み、私たちがこの社会でどのような存在として生きていくかを改めて知る。

## 問三

——(3)「新しい思考の枠組みとしては、どのようなものが考えられるのでしょうか。」とありますが、筆者は「新しい思考の枠組み」を考える上で大事なことは、どのようなことだと述べていますか。四行以内で説明しなさい。

## 問四

——(4)「世界のあり方」を表して、その中に『人間』を社会的に位置づける」とありますが、これと同じ意味の表現を、本文から十一文字で抜き出しなさい。

問五 — (5) 「言葉というのは、本質的によそよそしいもの」とありますが、「言葉」が「本質的によそよそしい」とは、どういうことですか。二行以内で説明しなさい。

問六 — (6) 「そのようなかたちで新しい思考の枠組みを作ること」とありますが、筆者はどうすることによって「新しい思考の枠組み」を作ることができるかと述べていますか。三行以内で説明しなさい。

問七 

A
---

D
---

 に入れる語として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし同じ記号は二度以上使えません。)

ア さて    イ 例えば    ウ むしろ    エ つまり

問八 — ア～オのカタカナを漢字に直しなさい。

問九 本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 宗教の世界創造の神話も、近代の「私」の神話も、世界と自分を関係づける上で重要な役割をこれまで果たしてきたが、現代社会においては不要なものである。

イ 言葉は、それが世界と自分の位置を示すものとして機能する場合はよそよそしく響くため、意識があらゆる事柄ことごとと関係づけられていく過程を宙吊りにするものである。

ウ 近代社会は、宗教の神話をいったん解体したために、自分でルールを選択する自由を獲得することを可能にしたが、その代償として多様性を喪失してしまったのである。

エ すべての思考の枠組みをいったん宙吊りにし、「ゼロ地点」に立ち返ることにより、人々が同じ世界を見るための新しい思考の枠組みを得ることを可能にするのである。

2 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

95

90

85

80

75

70

65

---

130

125

120

115

110

105

100

問一 — (1)「私と相沢さんは知り合いのようなものになった。」とありますが、なぜ「私」は「相沢さん」を「知り合い」ではなく、あえて「知り合いのようなもの」と言っているのですか。三行以内で説明しなさい。

問二 — (2)「一日で作れますんで、今度差し上げますよ、と提案する」とありますが、そのように「提案」してしまった理由を、「私」はどのように振り返っていますか。四行以内で説明しなさい。文末は「…と振り返っている。」とすること。

### 問三

— (3)「相沢さん」とありますが、ここでの「相沢さん」についての説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ファンサービスの良いボーイズグループにいる芸能人が好きで、愛用しているプレスレットを身に付けてロケ現場を追うことが「相沢さん」の日常生活には不可欠である。

イ 近くのお客から好きな芸能人の主演ドラマのロケがあると聞いて、それ以後はサインや握手や撮影といった交流の場に行くことが「相沢さん」の日常生活には不可欠である。

ウ あるボーイズグループにいる芸能人が好きで、主演ドラマのロケ先を追っており、ロケ後のサインや握手や撮影といった交流の機会が「相沢さん」の日常生活には不可欠である。

エ 最近始まった主演ドラマのロケがあり、ロケ後にサインや握手や撮影をするといったサービスのよい芸能人ばかりを追って回ることが「相沢さん」の日常生活には不可欠である。

問四

(4)「なんだかこの人すごく複雑な人だな」とありますが、

(一) そう感じた理由を説明したものとして最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「相沢さん」は、「私」と会う予定の日に追いかけている芸能人のロケが重なってしまったことを後悔するとともに、SNS上の仲間に対して申し訳なく思っている様子もなく、明るく振る舞っているから。

イ 「相沢さん」は、「私」との先約について、SNS上の仲間たちに愚痴を言っている一方で、人なつこい性格も手伝って、「私」に対しては文字の上ではあるが元気のよい返事をしながら断りを入れることができるから。

ウ 「相沢さん」は、「私」との先約と芸能人のロケが重なって、芸能人を見られないことを嘆く一方、自分のSNS上では本当に残念なのは仲間たちと会えないことなのだとして正直にふれ回っているから。

エ 「相沢さん」は、「私」との先約によって日程が重なり、芸能人のロケ現場を見に行けなくなったことについて、延期せずその日がいいと「私」に言う一方で、SNS上の仲間たちには愚痴を言っているから。

問五

次の《 》の表現は本文中のものです。本文に入る最もふさわしい箇所を、《あ》《お》の中から一つ選び、記号で答えなさい。

《あなた、これが気になってたでしょ？ 今がそれを知る機会よ。あなたには本当はそれを知りたいのよ。》

問六

——(5)「うそ」とありますが、

(一) 「うそのつもりで言ったことが、いつのまにかほんとうになること」という意味のことわざをひらがな九字で書きなさい。

(二) 語句問題です。

(一) ( ) 内の意味に合うA～Dの慣用語やことわざなどの、 A

D  に入る最もふさわしい言葉を答えなさい。

A  A  舌(前に言ったことと違うことを、平気で言うこと。うそをつくこと)

B  B  に乗せられる(口先だけの、うまい言葉にだまされる)

C  C  をかく(相手の考えていることと反対のことをして、失敗させる)

D  D  (うそもときには必要な方法である)

次の  I   IV  に入る最もふさわしい語を、《語群》の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし同じ記号は二度以上使えません。)

I マラカスを  I  と振っている。

II キャベツが  II  していて美味しいです。

III つくしが  III  と生えている。

IV 炭酸水のような  IV  とした飲み物が苦手だ。

《語群》

ア シヤキシヤキ  イ きよろきよろ  ウ チョキチョキ

エ シユワシユワ  オ じゃぶじゃぶ  カ シヤカシヤカ

キ チューチュー  ク ムシヤムシヤ  ケ によきによき

コ ちよろちよろ  サ もじゃもじゃ  シ によろによろ

## 問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「相沢さん」とは数えるほどしか会ったことのない「私」は、あまり親しくないために約束を断ろうと思い、人間関係がこじれないようなうそをつこうとしたが、体調不良を理由にするのは姪めいから認められなかった。

イ 好きな芸能人のロケを見に行きたい「相沢さん」のSNS上の愚痴ちを見た「私」は、その強い思い入れを知ったので、姪が体調不良だからとうそをついて約束をキャンセルしたことも見破られるだろうと不安だった。

ウ 言動が理解できない「相沢さん」とはもう会いたくなくなった「私」は、体調不良の姪のそばにいてやらなければならぬというそをついて約束を断ったが、あとで姪からは「うそはいけないよ」と言われてしまった。

エ 毎月暇ひまな日を見つけて好きな芸能人のロケを見に行くという「相沢さん」を不審ふしんに思った「私」は、その言動も複雑だったために嫌いになったが、人間関係のバランスを考えると、うそをつくのはよくないと反省した。



